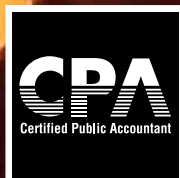


会計人の教養

10

2016 OCTOBER



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p style="padding-left: 20px;">② 「おねがいします！」</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 「ありがとうございました」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 「失礼します」</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ② 「〇ページをお開き下さい」 ③ 「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る ★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む ★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」 <p>④ 全員が落ち着いたことを確認 ⑤ 「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

21 20 19 18 17 15 14 13 12 11 8 7 6 5 4 3 1

金 木 水 火 月 土 金 木 水 火 土 金 木 水 火 月 土

睡眠
朝日
初任給
笑顔
海
ススキ
ポルトフォリオ
「ありがとう」で
心を豊かに
老舗の次なる一杯
幸せ
身だしなみ
ルール
一人暮らし
携帯電話
雑穀米
夕焼け
音楽

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

聞いてわかるは他人の道
通、わかるは自分の道
両方わか、成程の道

学校掲示「今日の言葉 2015年5月27日分」より

※「今日の言葉」とは、学生が毎日交代で名言・格言を書くコーナーです。

31 29 28 27 26 25 24 22

月 土 金 木 水 火 月 土

もみじ
川
日本の制服文化を
未来につなぐ
修学旅行
世界一の感動を
帰省
読書
さらに深く、より広く

25 24 23 22 21 20 19 18

2016 OCTOBER 平成28年 神無月 [かんなづき]

第2巻10号(通算16号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

「寝る子は育つ」という諺ことわざがあるように、睡眠とは、毎日の中でとても欠かせないものです。現代では、ただ睡眠をとるだけではなく、睡眠の質も重要視されています。

全国睡眠財団の調査によると、若年者の推奨睡眠時間は、7〜9時間であり、日本の一日の平均睡眠時間が470分であるのに対し、スペインは、530分と44分も差がついています。

睡眠平均時間が多いスペインをはじめとする地中海地方は、昼食後に睡眠を含む一休みをする「シエスタ」という風習が、健康を促進する効果があるとされています。

しかし、ただ睡眠をとるだけでは疲れはとれず、無呼吸症候群等の病気になる恐れもあります。睡眠で最も大切なことは、「リラックスすること」です。無理に寝ようとすると返ってストレスがたまり、余計眠れなくなるのです。

日本では、特に若い世代の睡眠の質があまり良くなく、夜遊びや仕事等で良い睡眠を十分にとっていない傾向が見られます。自分なりの良い睡眠を心がけ、翌日に向けて気持ちをリフレッシュすることが大事です。

今日の心がけ◆質の良い睡眠をとりましょう。

日々生活していく中で、多くのストレスを抱えることもあります。そのような時に効果的なのが、朝日を浴びることです。

具体的には、不眠症の解消や自律神経を整えること、また、体内時計を正常化できるなどの効果が上げられます。

さらに、科学的にも朝日を浴びることは、心身の健康保持に良いと言われています。朝日を浴びることで、「セトロニン」と呼ばれる神経伝達物質が作られ、気持ちを落ち着かせ、脳を活性化させるといったことが証明されています。

朝日を浴びることだけで、自分の健康を維持することにつながり、結果として一日の学習にも集中して取り組むことができます。

日々の学習に集中するためにも、毎日朝日を浴びて、一日を気持ちよくスタートさせましょう。

今日の心がけ◆朝日を浴びましょう。

みなさんは、初任給を何に使いたいですか。アルバイトであれ正社員であれ、自分の労働の対価として、初めて頂くお給料は特別なものでしょう。

自分の好きなものに使いたい、美味しいものを食べたい、自己成長のための投資につかいたい、現実的に考えて、貯金する、生活費や奨学金の返済に充てる、感謝の気持ちを込めて、親に何か買ってあげたい等、決して大きな額ではありませんが、使用の用途は様々です。

基本、私たちが頂く初任給は、実際のその仕事に見合うだけの金額ではない場合が多いようです。なぜなら、仕事を始めてすぐのため、教えて貰うことも多く、時には失敗もしてしまうからです。

給料が、会社の利益から支払われていることを考えると、新入社員で利益を出して貢献しない限りは、給料の前払いとさえ言えるでしょう。

だからこそ、頂いたお給料に対して、ありがたみを感じ、大切に使いたいものです。

今日の心がけ◆お金のありがたみを感じましょう。

気分次第で顔の表情は変化するというのは当たり前ですが、顔の表情次第で気分が変化するという説は、あまり知られていないのではないのでしょうか。

アメリカの研究者クラフトは、大学生169人を、笑っていないグループ（以下A）、笑顔の口の形をキープするために、箸をくわえたグループ（以下B）に分けました。

そして、学生たちには氷水に手を入れたり、鏡に映った対象物の動きを、利き手ではない手で追うといった作業をしてもらいました。このストレスを引き起こすための作業については、学生たちに一切理由は知らされていませんでした。

すると、AよりBのほうが作業をしている間のストレスが少なく、作業中の心拍数も低いことがわかりました。

この結果からも分かるように、笑顔の力は計り知れません。あなたが仕事や友人関係でストレスを感じている時こそ、絶やすことが無いよう心掛けてください。

今日の心がけ◆イライラした時こそ笑顔を忘れないようにしましょう。

「海は広いな、大きいな」

誰もが聞いたことある歌詞だと思います。私も小さいころは、保育園や教育テレビでこの音楽が流れたら、歌っていました。みなさんも、一度は歌った記憶があるのではないのでしょうか。

この歌を聞くと、小学生のころ、海と空とではどちらが広いのかを、友達と言い争いしたのを思い出します。陸の上にも空はあるから、空に決まってるじゃん。そう友達は言いました。しかし、当時の私はなぜか素直に受け入れることができませんでした。

確かに、空は広いですが、海もとても広いと考えていました。なぜなら、砂浜から見た海は、永遠にどこまでも続いているように見えるからです。今振り返ると、このような素敵な光景を目にすると、こんなささいなことと言い争っていたのかと、みじめな気持ちになります。

私は、この経験から、普段から海のような広い心を持つことで、どんなに小さいことでも素直に受け入れられる、心の広い人になりたいと思います。

今日の心がけ◆素直に受け入れられる、広い心を持ちましょう。

ススキ

ススキを見ると、秋の訪れを感じる人が多いのではないのでしょうか。

ススキはたくましく強^{きようじん}靱^{じん}で、繁栄力のある植物です。秋の七^{なな}草^{くさ}であり、日本全国に分布しています。かつては茅^{かや}と呼ばれ、茅^{かや}葺^ぶき屋根の材料や家畜のえさとして使われていました。中秋の名月には、収穫物と一緒に供えられますが、収穫物を悪霊から守り翌年の豊作を祈願するという意味もあります。

ススキの「スス」には葉が真っ直ぐにすくすく立つことを示し、「キ」は芽が萌^もえ出る意味の萌^もだと言われています。

私達は、今がススキでいう「スス」にあたります。学校で学ぶことにより、ススキのようすくすく成長していき、芽が出てくるようになります。人によって芽が出てくるタイミングは違いますが、一日一日の積み重ねが芽を出すための第一歩となります。

ススキの茎の長さに違いがあるように、その人の努力次第でどこまで成長できるかは違いが出てきます。様々な困難を乗り越えて、ススキに負けないような芽を出していきましよう。

今日の心がけ◆日々の努力を怠らないようにしましよ。

「卵は一つのカゴに盛るな」という言葉を聞いたことはありませんか。

これは、大事な物はできる限り分散しようという考え方を表しています。このような考え方を用いて投資活動などを行うことを、ポートフォリオといえます。

ポートフォリオを簿記会計で例えるならば、リスクヘッジともいえるでしょう。ポートフォリオは、各製品や事業の管理手法として、コンサルティング業界で活用されています。

それは、プロダクト・ポーフォリオ・マネジメント（PPM）といわれ、製品や事業のバランスの良い組み合わせを決定するために行われます。

このように、私たちが学んでいる会計をベースとして、経営判断を行うための管理手法が用いられています。そのため、今後もさらに学び続けしていくことが大事だと思います。

今日の心がけ◆貪欲に学び続けましょう。

東京CPA会計学院には、「ありがとうカード」というものがあります。これは、感謝の気持ちをメッセージで気軽に伝えることができるツールとして、約1年半前に導入されました。

ありがとうカードが導入されてから、掃除を手伝ってくれたお礼や、わからない問題を教えてくれたお礼など、様々な場面で感謝が飛び交うようになりました。

この感謝の伝え合いは、多くの企業でも実施されています。例えば日本航空も、ありがとうカードによって社内の連携を高めており、ヤマト運輸も、他人からの感謝などを「満足ポイント」として業績評価などに反映させています。

「ありがとう」と感謝することは、やってもらおうことを当たり前と思わず、相手を尊重し、認め合う気持ちの表れではないでしょうか。

誰しも、自分の行いが評価されたり、認められたりすると嬉しいものです。「ありがとう」は、伝えるだけで、自分も相手も心が豊かになる魔法の言葉なのかもしれません。

今日の心がけ◆「ありがとう」を伝えましょう。

コンビニコーヒーがすっかり定着し、産地にこだわるスペシャリティコーヒーを扱うカフェが人気を博すなど、いまや空前のコーヒーブームです。国内のコーヒー消費量は、3年連続で過去最高を更新中しました。

そのような、日本のコーヒー文化を戦後からけん引し、川上から川下まで一貫したコーヒー事業を展開するのがUCCです。世界初の缶コーヒーを開発し、レギュラーコーヒーでは、「16年連続でシェアトップを独走しています」。

人気の裏には、一杯のコーヒーにかける情熱と常識を覆すアイディアがあります。例えば、社長の上島昌佐郎氏は、世界中のコーヒー農園を訪ねて周り、無糖ブラックコーヒーやカフェインレスコーヒー、スパークリングコーヒーなど、斬新な商品を開発してきました。

UCCの研究施設には、味覚センサーという機械があり、たこ焼きや焼きおにぎりといった食べ物の成分を分析し、コーヒーに合う食材や食事に合うコーヒーを発見できるそうです。

情熱を持って物事に取り組み、常に研究する姿勢から、常識を覆すようなアイディアが出るのかもしれませんがね。

今日の心がけ◆一杯のコーヒーを味わいましょう。

みなさんは何をしているとき、幸せを感じますか。寝ている時、おいしいものを食べている時、友達と話をしている時、それぞれあると思います。

よくこんなフレーズを耳にします。「幸せはそこらへんに転がっている。」本当にその通りではないでしょうか。

しかし、戦時中は、行きたくても生きることができませんでした。例えば、特攻隊として日本のためにと命を亡くした若者もいます。戦時中だけではありません。明治時代、江戸時代などさかのぼっていけば、そのような人たちはもつとたくさんいるのではないのでしょうか。

現在穏やかに生活を送れているのは、未来の日本の平和を願い、人々の生活をよくしたいと願った先人たちのおかげだと思ふと、こうして学ぶことができ、友達や家族との時間を過ごせることがとてもありがたいと、幸せなことだと思います。

小さな幸せはいつでも、すぐ側にあるものです。それに気づき、見つけることで、より幸せな人生を送ることができるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆小さな幸せを見つけましょう。

Iさんが中学生のときに、「身だしなみとおしゃれは違う」とよく言っていた先生がいました。Iさんの中学校では、頻繁に服装検査があり、その先生は服装検査に厳しいことで有名です。

身だしなみとおしゃれが違うということが分かっていなかったIさんは、何が違うのか、その先生の話をしつかり聞いてみることにしました。

するとその先生は、おしゃれは自分のためにするもので、身だしなみは周りの人のためにするものと教えてくれたのです。

ただ単に決まっている服装を守っていただけのIさんでしたが、それからは、周りの人のためにもきちんとした服装を心がけようと思うようになりました。

みなさんも、その場に応じた服装を心掛けるようにしましょう。

今日の心がけ◆身だしなみを整えましょう。

今年のプロ野球において、コリジョンルールの存在が物議をかもしています。コリジョンルールは、今年から日本のプロ野球にも導入された新しいルールであり、導入前までは聞き慣れない言葉でしたが、今や頻繁にメディアに取り上げられ、話題となっています。

コリジョンルールのコリジョンとは、「衝突」を意味し、当該ルールは本塁での危険なプレーを回避するために作られたもので、本塁上のクロスプレーによる、走者の激しい体当たりや捕手の悪質なブロックにより、選手生命が絶たれないためのルールです。

メジャーリーグでは、一昨年から導入され、日本野球機構においても、今年から導入されました。しかし、このコリジョンルールを巡っての判定に、ファンや選手、さらには監督からも批判が噴出し、選手を守るためのコリジョンになっていないと話題になりました。現場からも不満の声が続出したこともあり、なんと、プロ野球では異例となるシーズン中に、コリジョンルールの見直し、新基準の適用に踏み切ることとなりました。

明確な基準が定められていないことから、判定は審判の裁量に任されるため、判断が曖昧になっていることに原因があると思います。個人的には、球団により消化試合が異なる等の理由から、今シーズンは現在のルールを継続して適用し、シーズンオフからまた改めて根本から見直してほしいです。

社会や日常においても、ルールの壁というものは必ずあります。みなさんも、身近なルールを見直してみるのも良いかもしれませぬね。

今日の心がけ◆ルールを守りましょう。

今年の四月から、人生初の一人暮らしがスタートし、今まで親に頼りきりだった私は、家事や身の回りのことを、これから自分一人でやっていかなければいけないと、不安に思っていました。

一人暮らしを始めて、2週間後の4月14日、熊本地震に襲われました。あれほどの大きな揺れは、人生で初めてでした。揺れた直後に、携帯電話の着信音が鳴りました。「大丈夫？」と心配する母の声で、私の恐怖感が少し和らぎました。その後も、親戚や友人、高校の先生からたくさんのメッセージをいただきました。

地元に戻った際は、母の美味しい手料理を食べ、友人と再会して、思い出を話し合い、心配してくださった方々にお礼をしました。「元氣そうでよかった」、「会えてうれしい」との言葉に、改めてみなさんの優しさに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

身の回りのことを、すべて自分でやらなければいけないと思っていた私ですが、今回の件で、たくさんの人に支えられて生活を送れているのだと、気づくことができました。これからも、周りの人たちへの感謝を忘れず、今度は誰かを支えられるような人間になりたいと思います。

みなさんも、周りの人たちの存在、その有り難さに感謝しましょう。

今日の心がけ◆感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

1960年代の第二次世界大戦中に、アメリカ軍が使用したモトローラ製のトランシーバーを前身に、世界で初の携帯電話が登場しました。

初めは、両手で持つにはひと苦勞する程の重さで、日本でも「シヨルダーホン」の愛称で広まりました。

その後、小型化に成功し、時代が進むにつれ「ポケベル」から「ガラケー」へと移り変わり、電話のみならず、新たに「メール」という通信手段が当たり前になりました。

そして、2007年、インターネットの急速な普及を皮切りに、パソコンと携帯電話を一つに合わせたかのような画期的なデバイスである「スマートフォン」が誕生しました。現在の通信手段はSNSがメインとなり、使用の用途も通信に限らず、ゲームやインターネット、さらには、デジタルカメラほどの写真撮影も可能となりました。

技術の進歩は素晴らしことですが、技術の進歩と共に、人間らしい生活を失ってはいないでしょうか。今後どのような世界に変わっていったとしても、時流じりゅうに流されない生き方を貫きたいものです。

今日の心がけ◆「人間らしさ」を考えましょう。

安く、手軽に、そして効果絶大を銘打って宣伝し、最近、話題沸騰中となっているサプリメントを筆頭としたダイエット食品。

確かに、どの商品においても、宣伝通りの効果をもたらさし、顧客満足度も非常に高いものも多く、人気となっているのも頷けます。

しかし、商品を手に入れたからと言って、必ずしもダイエットに成功するとは限りません。寧ろ、その便利さ故に甘んじてしまい、かえって逆効果をもたらす危険性さえはらんでいるのではないのでしょうか。

そこで、そのような文明の利器を使わずとも、ダイエットをより確実に成功させる方法があります。それは、日頃食べている白米を雑穀米に変えることです。雑穀米には、脂肪の原因となる炭水化物の吸収を抑える水溶性食物繊維と、少ない食事で満腹感をもたらす不溶性食物繊維が、バランスよく含まれています。

このように、雑穀米を通して、便利さを求めるあまり忘れがちな食の喜び、ありがたみを改めて身を引き締めながら、理想のボディへと少しずつ近づいてみるのもいいかもしれません。

今日の心がけ◆食のありがたみを感じましょう。

夕焼けは、日没の頃、西の地平線に近い空が赤く見える現象のことをいい、空や山々、町並みを赤く染めあげる等、美しいものです。また、昼間の時間が終わり夜がやって来る合図でもあり、比較的短時間で終わってしまいます。

そのため、夕焼けの情景は文学や楽曲、映像作品において、儂さ・せつなさ・悲しさ・寂しさ・別れ・衰退・没落・老いや死などを表すものとしても用いられます。

秋の空は、空気が澄み夕焼けが美しく、そのうえ日の長かった夏から徐々に日没が早くなっていくため、夕焼けを意識しやすい時期です

清少納言せいしょうなごんは、『枕草子まくらのそうし』の冒頭で、「秋は夕暮れ」と記しています。俳句においては、「夕焼け」は「朝焼け」とともに夏の季語であり、秋の夕暮れを詠むよときは、「秋の夕焼け」などと用いられています。

みなさんも、季節の変化を楽しんでみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆秋を大観しましょう。

みなさんは、「音楽」というものが、何がきっかけで生まれ、今のような姿になっていったのかを知っていますか、

西洋音楽では、リズム、メロディー、ハーモニーの三要素を持つものが音楽とされています。この三要素を音の性質を利用し、時間の流れにそって音を組み合せています。例えばこの中にあるリズムは、雨の音、鳥のさえずりなどから生まれ、民謡になり、そこに楽器が加わり、さらに人の歌声が加わり今の音楽になったと考えられています。自然の音を主材料としている昔の音楽と比べ、今私たちが聴いている民謡、クラシック、ロックなどの音楽は、変化を繰り返した音楽なのです。

音楽だけではありません。今私たちが生活できるのも、たくさんの方の苦難を乗り越えた先人たちの知恵と努力のおかげです。そのためにもしっかりと歴史を学び、こうした奥にあるものや隠されたものを知ることが大切です。今がすべてではないのです。

今日の心がけ◆知る意義を持ちましょう。

秋は、紅葉の季節です。紅葉する樹木の中でも特に有名なものは、もみじではないでしょうか。

もみじは、世界に約128種類あり、様々な使いみちが存在します。例えば、日本では、紅葉の美しさを表現する盆栽や、庭を彩る庭木として使われます。

海外のもみじといえば、メープルの葉をモチーフとしたといわれるカナダの国旗です。メープルは、サトウカエデと呼ばれる種類の樹木から採取される樹液を煮詰めたものです。他にも、木材として用いられたり、薬用としても使われているようです。

もみじは、ただ綺麗だけでなく、様々な面で私たちの生活にも役立つ素晴らしいものだと思います。

私たちが見ているだけの自然のものは、たくさん使いみちがあります。自分が気になった自然のものの使いみちを、たまには調べてみてはいかがでしょうか

今日の心がけ◆自然の使い道を考えましょう。

川は生活する上で重要な役割を果たしています。あの世界三大文明であるエジプト文明、メソポタミア文明、黄河文明も川の側で発展してきたのです。

川の水は、もともと地上に降った雨や雪です。

それらが川として流れるには、2つの方法があります。1つ目は、直接川に降った場合です。2つ目は、地上に降り土の中にしみ込んだ水が、もう一度地上に湧き出す場合です。このようにして、長い年月をかけて大きな流れを生み出すのです。

みなさんには、尊敬する人がいますか。目標としている人に近づきたいと、精一杯努力していますか。

川が長い年月をかけて作り上げられるように、長い年月をかけてでも、目標を掲げ努力すれば、必ず達成できるのではないのでしょうか。

焦らず、恐れず、自分の決めたことを貫き、思いを叶えましょう。

今日の心がけ◆自分の信念を貫きましょう。

青春の思い出と言えば、学生服。その学生服は、必ず4月の入学式に間に合うように納品しなければなりません。しかも、どんな体型の生徒にも対応し、3年間着る耐久性も求められるという特殊な性格を持つ服です。

今年で創業140周年を迎える学生服大手のトンボは、1万校分・年150万着の学生服を全て国内で生産しており、学校別のボタンや裏地の在庫も全部担っています。

そのような学生服作りは、究極の多品種少量生産です。学校ごとに、形もボタンも糸の色も違い、納期も入学式に集中するという非効率な商売です。トンボは、採算をとるために立ちミシンといって、生地をもった作業員が、縫製過程ほうせいごとにミシンを移動し、制服を縫い上げます。

その一方で、効率アップ専門社員がおり、作業時間をストップウォッチで計測し、どこに無駄な動きがあるかをチェックし、1秒単位で効率の改善に努めています。

このような、緻密な計算と絶え間ない努力の下に私たちの青春でもある制服が作られています。

今日の心がけ◆歴史を振り返り、未来に残しましょう。

みなさんは、修学旅行でどこに行きましたか、ドイツ・ニールランド、京都・奈良の観光、長野のスキー等が代表例のようです。

そもそも修学旅行は、何の為に存在するのでしょうか。

日本の修学旅行の始まりは、1882年に栃木県第一中学校の生徒たちが、教員に引率され、東京の上野で開かれた「第二回勸業博覧会」かんぎょうを見学したことが始まりと言われています。

目的としては、集団行動を学ぶ人間関係の構築、新しい文化、環境を知る思い出づくりと提唱されています。

私は修学旅行で富士山に行き、観光客の方々とたくさんの方との会話を通して、文化の交流を図ることができました。

学生時代の修学旅行の思い出は、大人になっても色あせることはありません。大人になつて、旧友と再会した時に、修学旅行の思い出話に花を咲かせるのもいいかもしれませんね。

今日の心がけ◆思い出を大切にしましょう。

「晩白柚^{ばんぺいゆ}」は、大きいものでサッカーボールほどの大きさをもつ、世界最大の柑橘類^{かんきつるい}です。晩春^{ばんしゅん}には枝先に大きい花が咲き乱れ、あたり一面に芳香^{ほうこう}を漂^{ただよ}わせます。

戦前、熊本県八代市出身の島田弥一^{しまだやいち}氏が、原産地ベトナムの船上で、食後に出された晩白柚を食べました。その美味しさに感動し、当時の勤務地であった台湾に、苗木を持ち帰ったと言われています。晩白柚は台湾の一部で普及し、その後、台湾から鹿児島県に伝えられ、昭和初期に、最も栽培に適した気候である熊本県で本格的な栽培が始まりました。

白柚^{ぺいゆ}（ザボン）よりも成熟が遅いため、いつしか晩白柚と呼ばれるようになり、さらに品種改良を重ねて、現在のとても甘く瑞々^{みずみず}しいフルーツへと進化してきました。

ほぼ100%が熊本県で栽培されており、現在は、熊本県の名産品の一つです。果肉の美味しさに加え、厚皮^{あつかわ}も砂糖漬けのお菓子に加工することができ、お歳暮^{せいぼ}などの贈答品としても親しまれています。

島田氏の一瞬の感動と行動力が、現在の熊本の産業を支え、また、多くの人へと感動を伝えているのですね。

今日の心がけ◆「感動」を分け合いましょ。

みなさんは、帰省をした時、どのように過ごしていますか。

幼い頃の思い出に浸ったり、地元の友達や恩師との交流の時間に費やす人もいるのではないのでしょうか。このことは、帰省した時の楽しみとしては、よいのかもしれませんが、しかし、楽しむことだけが帰省の目的ではないのです。

帰省の本来の意味は、故郷に帰って親の安否を気遣うことを言います。仕事や学業をしている人達は、お盆休みやお正月位しか地元に戻ってくる機会は少ないと感じます。そのため、親と離れていると本当に、親のありがたみがわかると思います。帰省した僅かな時間の間だけでも、親との時間を大切にしてみてください。

子は親からいつかは巣立って行きます。そしていつの日か、親との別れも必ず来ます。だからこそ、帰省した時には、親と一緒に過ごし、日頃の感謝の気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆日頃の感謝を伝えましょう。

みなさんは、本を読む事は好きですか。本にも様々なジャンルがあり、小説、歴史、自己啓発けいはつなど、多岐に渡ります。さらに、本を読むことで、心が穏やかになる、読解力どっかいりよくがつくと耳にします。

資生堂の名誉会長である福原義春氏ふくはらよしはるは、「空気読むより本を読め」と言われています。読書家である福原氏は、特に歴史書を好んで読み、今となつては聞くことのできない先人達の知恵を、本を通じて知ることができると提唱されています。さらに、何度も繰り返し読むことで、本の内容が血肉化し、読書の効果が上がると提言されています。

このように、本を読むことには大きなメリットがあり、ビジネスで成功するには読書が必須です。しかし、仕事が忙しくて時間がない。家事に追われて休めないなど、本を読むことができていない方も多いと思います。

私も学校の学習が忙しく、朝の10分しか本を読む事ができていません。しかし、自己啓発書を読んで、自分考えを見直す良い機会となつています。

みなさんも、少しの時間で良いので、時間を作り、読書を始めてみてはいかがでしょうか。今日の心がけ◆本を読みましよう。

厳しい雇用状況が続く近年、インターネットの知識や管理ソフトなどを活用し、多くの分野の仕事を一人でこなせる「ゼネラリスト」を求める企業も少なくはありません。しかし、高度なプログラムを組んだり、高度な会計処理を行ったり、高い語学力を発揮したりすることは、高い専門性を持った「スペシャリスト」にしかできません。

例えば、図書管理のプログラムを組むためには、図書管理の仕組みを知らなければなりません。また、退職金の会計を行うためには、労働基準法を学ばなければなりません。さらに、医療のデータを翻訳する業務などであれば、医学を学ぶ必要もあります。

専門性が高いことは「深く狭い」ことであると思われがちですが、真のスペシャリストはさらに深く、より広い知識が求められるのです。

仕事は判断の連続で、判断には軸が必要です。専門分野を極め、それを軸とした上で、ビジネスに必要な知識や能力を身に付けた人が、真のスペシャリストと言えるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆**真のスペシャリストを目指しましょう。**